



図書だより 奥小学校

令和6年2月5日(月)



いちねんかんの読書生活をふり返ってみよう

どくしょもくひょう
読書目標
ファンタジーの本を読もう!

奥から辺戸に向かう国道沿いにも桜の花が咲き、沖縄の各地から桜の便りが聞こえ、

少しずつ春が近づいてきた気がしますね。

今年度もあと2ヶ月、皆さんは今年度何冊本を読みましたか?おもしろい本、心に残る本に出会えましたか?

この一年間の読書生活をふり返り、おもしろかった本、感動した本をみんなに紹介しましょう。



敦先生による読み聞かせ!
らくごえほん
落語絵本
「まんじゅうこわい」



1月読書冊数

れおさん	5冊
海さん	8冊
岳さん	0冊
(長い本を読んでいます)	
珠音さん	4冊
ほなみさん	12冊
聖虎さん	2冊



☆2月にちなんだ本を紹介していますので、読んでみて下さいね。

節分の由来

節分とは、もともと「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日、つまり季節の変わり目ごとに行われていました。日本では、立春が1年の始まりとして尊ばれていたため、時代が移り変わっていくうちにつれて、立春前日の節分が残り、現在では2月3日が節分の日となっています。

そして節分にかかせないのが「豆まき。」「鬼は～外」「福は～内」という掛け声とともに始まります。古来から日本では、季節の変わり目には邪気が乗じると考えられており、その邪気を追い払うために豆まきが始まったと言われています。

最近では、スーパーやコンビニなどで恵方巻が売られていますね。大阪方面で行われていた節分の風習で、節分の夜にその年の恵方に向かって無言で、太巻きを一気に食べると願いが叶うと言われています。

